

アスルクラロ沼津

2021シーズンのご報告 & FUTURE VISION



2021

AZUL CLARO



2021 Highlight ホームゲーム



2021 Highlight ホームゲーム



2021シーズンの結果と方向性

明治安田生命 J3 リーグ										
更新日：2021年12月5日(日) 16:48										
順位	クラブ名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点	直近5試合
1	ロアッソ熊本	54	28	15	9	4	39	20	19	△△○○○
2	いわてグルージャ盛岡	53	28	15	8	5	43	28	15	△○○○△
3	テゲバジャーロ宮崎	53	28	16	5	7	44	31	13	△○○○○
4	カタレ富山	46	28	13	7	8	40	34	6	●△○○△
5	福島ユナイテッドFC	45	28	13	6	9	41	32	9	●●△○△
6	FC岐阜	41	28	12	5	11	38	35	3	○○●△●
7	鹿児島ユナイテッドFC	40	28	11	7	10	34	35	-1	△●○○△
8	Y. S. C. C. 横浜	40	28	11	7	10	31	33	-2	○○●○○
9	AC長野パルセイロ	36	28	8	12	8	35	28	7	○△△○△
10	藤枝MYFC	32	28	8	8	12	42	42	0	●●●△●
11	FC今治	30	28	7	9	12	34	33	1	○○●○△
12	ガイナレ鳥取	29	28	9	2	17	36	53	-17	○○○○○
13	ヴァンラーレ八戸	29	28	7	8	13	24	44	-20	△●○○●
14	アスクラロ沼津	27	28	7	6	15	32	44	-12	△●○○△
15	カマタマーレ讃岐	21	28	4	9	15	20	41	-21	△●●●△

○勝 △分 ●負

序盤でのスタートダッシュで好発進したものの、中盤で連敗し勢いを保つことができなかった

中断明け以降、戦術の浸透などもあり復調の兆しがあったが、主力選手の相次ぐ怪我などの影響もあり、苦しいシーズンとなった

2022シーズンは若手選手の成長と経験を積んだ中堅の融合を強固にして、チームの底上げを図ります

チームの闘い方は間違っていないと確信しています

躍進のカギは「育成」の成果です
地域の皆様と共に育てていただく選手にご期待ください！

2022シーズンは上位を目指します



Present Conditions

～岐路～

クラブが直面する大きな問題①

スタジアム問題

Jリーグクラブライセンス喪失危機

■ 愛鷹スタジアム問題

- 愛鷹競技場ではJ2基準「座席全面を覆う屋根」は現実的ではない
- J2ライセンス取得には、「クラブによる新スタジアムを作る約束」と引き換えに暫定的にJ2ライセンスを取得できる「例外規定2」を使うしかない
- 例外規定2を適用すると、観客席・映像装置・屋根の改修は免除されるが、照明・諸室・トイレの改修は必須

J2ライセンス取得 愛鷹改修項目	
①観客席	5,000席→8,000席以上
②映像装置	電光掲示板→大型映像装置 (県が実施予定)
③屋根	全ての観客席を覆う屋根
④照明	500ルクス→1,500ルクス以上
⑤諸室	ドーピングコントロール室・審判更衣室・医務室等の整備
⑥トイレ	トイレ洋式化・増設(県が実施済)

ただし
照明基準はJ3ライセンスであって
も期限がある

2023シーズン
開始までの整備

■ スタジアム問題 J3照明要件ーライセンス喪失危機



【2023シーズン開始前までに1,500ルクスの照明を備える】



2022年6月時点で愛鷹競技場の改修が確定している必要



クリアできなければ2023シーズン以降J3ライセンスは取得できない



■ スタジアム問題 愛鷹競技場改修 取組状況

- 施設所有者である静岡県様のご協力、2017年以降の沼津市様の大規模な専門調査にて技術的課題はこの秋、おおむねクリアしたところ
- Jリーグの照明基準1,500ルクスは、愛鷹競技場の想定している必要照度をはるかに超える水準
- 興行上必要とする当クラブにて照明を改修し、完成後は静岡県へ譲渡(近日中に受注者公募予定)

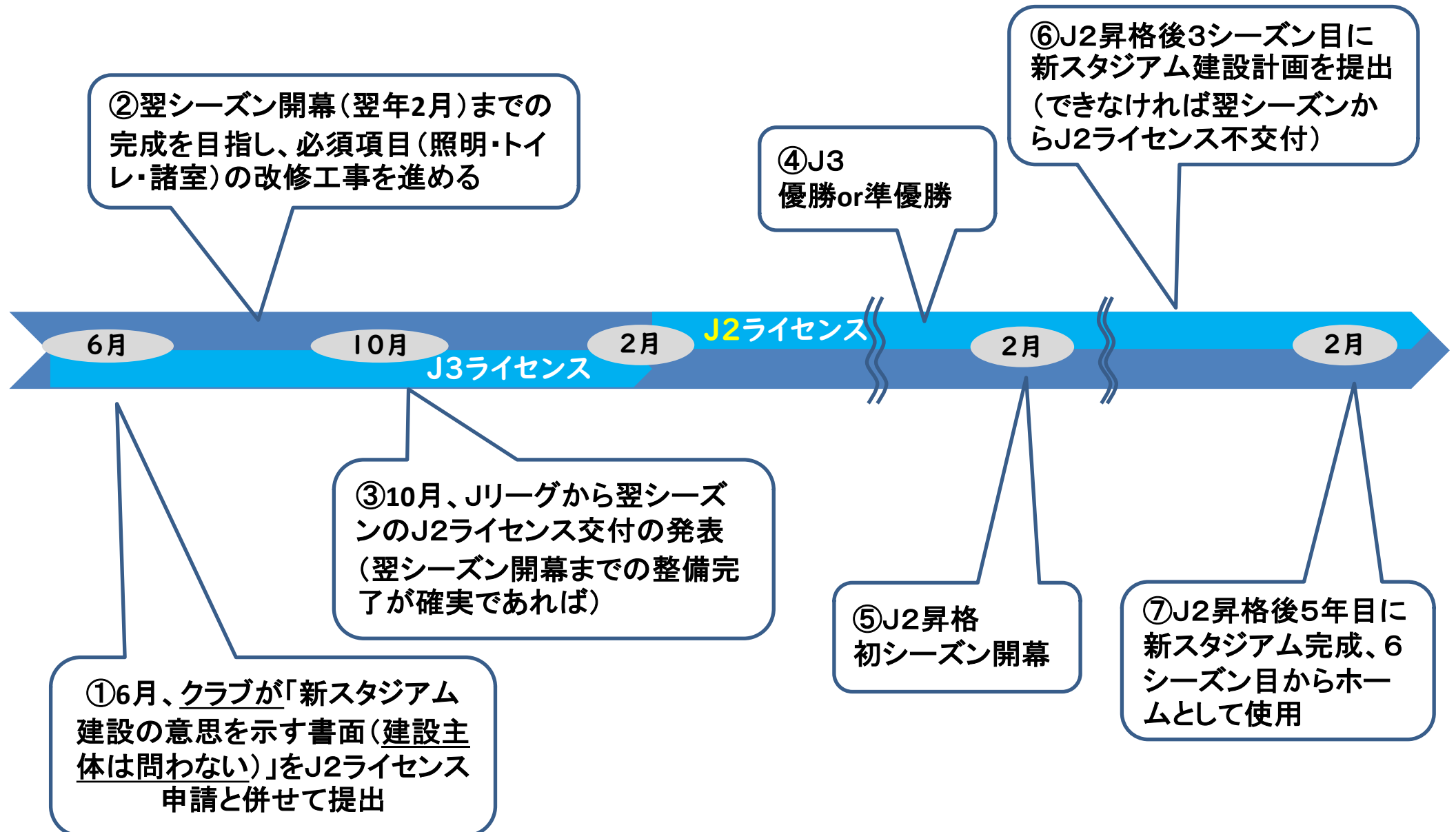
愛鷹照明改修費
1億円以上

- ① 毎年6月末の翌シーズンライセンス申請時に「上位基準を満たすスタジアムの建設」をクラブがJリーグに約束(申請時に主体や場所は問われない)
- ② 照明・諸室を翌シーズンまでに改修
 - J2ライセンスが暫定的に交付される
 - J3・2位以上で昇格した後、3年以内の建設計画提出、5年以内に完成しなければJ2ライセンス喪失

■ スタジアム問題 J2ライセンスー例外規定2



例外規定2を適用したJ2ライセンス取得の流れ



クラブが直面する大きな問題②

クラブの存続

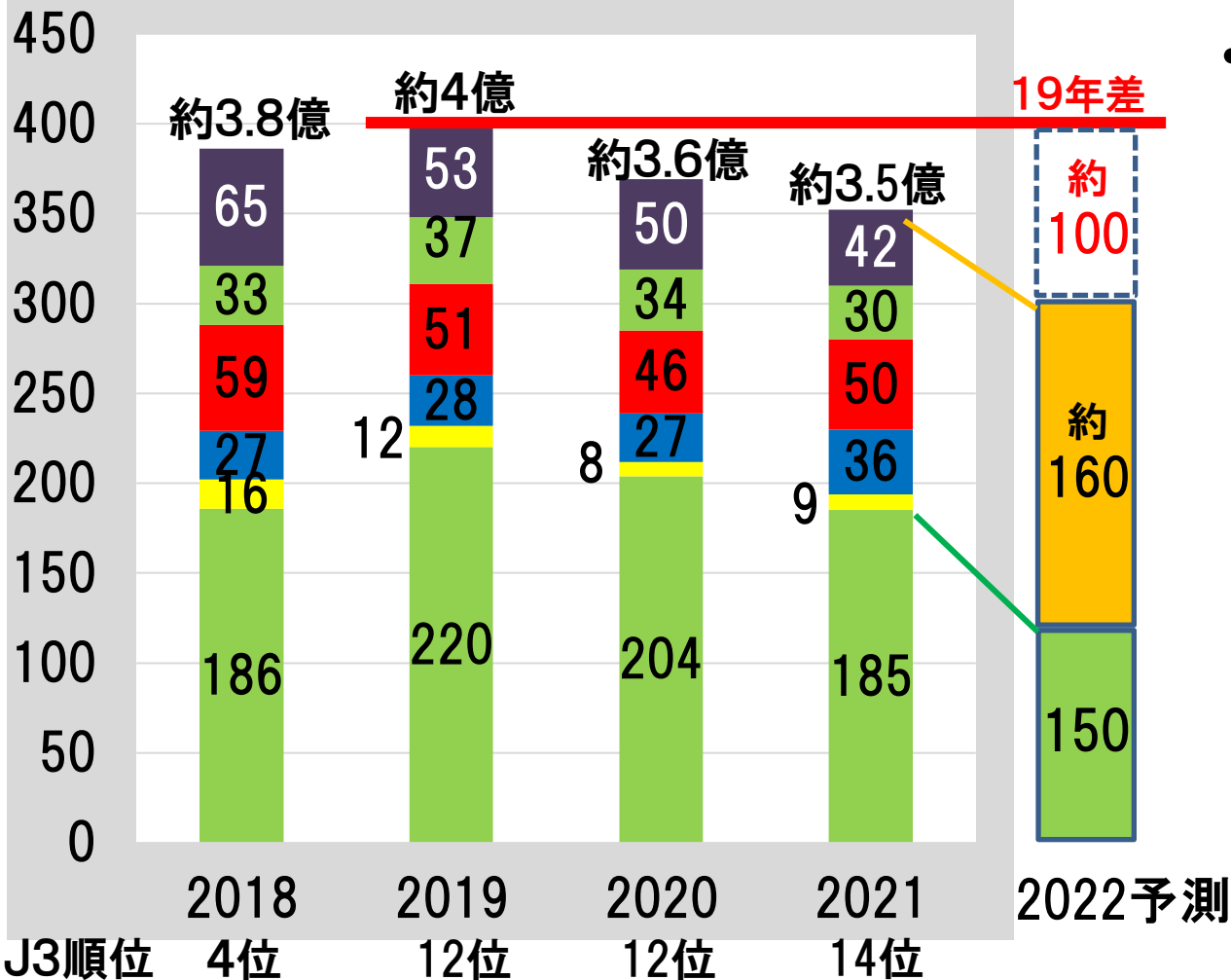
■ 事業収益の推移

コロナ禍で22年は現状予測19年比25%DOWN



クラブ売上高推移(単位:百万円)

- スポンサー
- Jリーグ分配金
- グッズ等物販
- 入場料
- アカデミー
- 施設貸出その他



- 20年、アカデミー収入大幅減、無観客試合・自粛影響で入場料収入減
- 22年、経況悪化によりスポンサー収入大幅減

2020年 他クラブ状況(参考)

【売上高】 当クラブ3億6千万円
 J3全16クラブ平均 4億6千万円
 J2全22クラブ平均 15億円

【チーム人件費】当クラブ1億3千万円
 J3全16クラブ平均 1億8千万円
 J2全22クラブ平均 7億3千万円



Future Vision

【環境の変化】

- ① 2023シーズン以降、J3ーJFLとの入れ替え戦導入の可能性
 - ② 少子化や学校スポーツの限界、生涯スポーツの重要性の高まり
- 地域社会に必要とされる存在になり、強固な地盤を形成する必要

【クラブ全体の新たな方向性】

- ① 子ども世代にとどまらない、東部全世代のスポーツの担い手・拠点となる、地域スポーツクラブを目指す
- ② スポンサーやシャレンパートナー、行政・地域団体など多くの団体とつながっている立場を生かし、地域でのハブの役割を担っていく

■ Vision 個別課題方針

【方針① 愛鷹競技場・照明問題のクリア】

- ・ 照明改修を自ら行い、何としてでもJ3ライセンスを維持
- ・ 新スタジアム候補地の目途が立った段階で愛鷹競技場諸室の改修を行い、例外規定2によるJ2ライセンス申請を行う

【方針② ホームゲームのコンテンツ力の強化】

- ・ 育成型クラブとしてのチームマネジメントで成績に結び付けていく
（地域で育てる選手が活躍するホームゲーム）
- ・ 新規来場層獲得のためホームゲームの組立てを再考する

【方針③ 企業セクターとの関係強化】

- ・ 「アスルだからできること」をブラッシュアップし、関わるメリットを創出
- ・ 関係企業の皆様との地域価値創出に努め、真に県東部に必要とされるクラブへと生まれ変わる

【方針④ 経営改善～収益の拡大とその流れづくり～】

■ 方針③ 企業セクター(案)～共に未来をつくる企業団体～



【来年から企業の皆様と実現したい事業案】

- 地元人材の採用支援としての企業見学をアスルが中心となって調整
- 福利厚生としての社員運動会や社員様向け健康増進プログラム・スポーツプログラム
- ホームゲーム等を機会としたテーマ型企业交流会

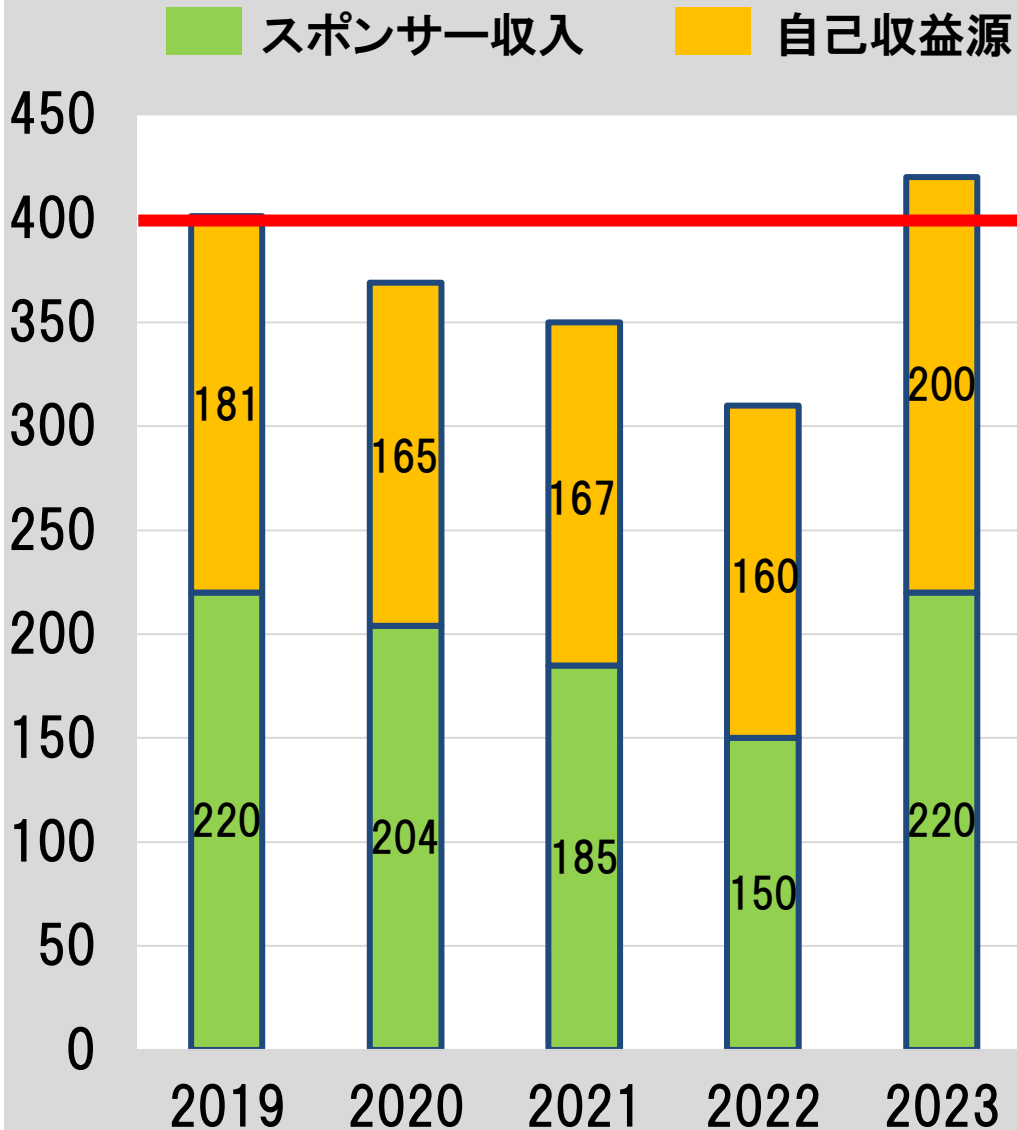


アスルだから
できることを形に

豊かな街づくりに各企業が集合体となり、アスルクラロが持つコンテンツを最大にご活用いただき、地域の発展につなげたい

■ 方針④ 経営改善～収益の拡大とその流れづくり～

クラブ営業収益目標(単位:百万円)



【収益4億円の回復 2本柱】

- ① 新規層開拓によるホームゲーム
入場料収入とグッズ収入の増加
- ② 企業目線での媒体としての価値
向上・スポンサー収入の回復
(スポンサー・リターンの見える化)

「ホームゲームに
行ってみようかな」 注目度
向上・誘発 「アスルは地域
に必要」

【潮流づくり】

愛鷹照明改修に乗り出すことで大きな
潮流を作る

2017年のJリーグ参入以降、愛鷹改
修の目途が立たなかったこともあり、
大きな話題を提供できていなかった



Our Action

～クラブ存続のため～

■ Action 2つのアクション・ご支援メニュー

【個人・本社沼津市内企業向け】

① クラウドファンディングの実施

- ・2022年1月中旬開始の予定
- ・使途は愛鷹競技場照明改修費ほかトップチーム運営費

【本社沼津市以外の企業向け】

② 沼津市企業版ふるさと納税としての寄付

- ・本社が沼津市外の企業のみ対象
- ・沼津市を通じたクラブ支援方法で、約3割から最大9割の税控除(各企業の財務状況による)

来年春までに
1億円以上を集める

■ Action① クラウドファンディング

- 個人(ファン・サポーター)を対象とし、インターネットを活用した資金調達としてクラウドファンディングを実施
項目は、愛鷹競技場照明改修、並びにクラブ運営費として活用する予定
- 本社が沼津市内の企業様も寄付という名目で活用することができるようにする
- より多くの露出を図り、支援の輪を広げ日本全国から、個人法人の皆様よりご支援をいただく形

1月中旬よりスタート予定



■ Action② 沼津市企業版ふるさと納税

- 地方公共団体が行う地方創生事業への企業寄付を促進する目的で、平成28年に「地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)」が創設された
- 企業の決算・財務状況により、寄付金額の3割～最大9割の税控除
- 沼津市で企業版ふるさと納税の対象となるのは「沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲載されたものののみ
- 沼津市は今年度改定した「第2期総合戦略」に「アスルクラロ沼津ホームタウン推進事業」を掲載し、受入れ準備が整った

■ Action 2つのアクション・ご支援メニュー

【個人・本社沼津市内企業向け】

① クラウドファンディングの実施


- ・2022年1月中旬開始の予定
- ・使途は愛鷹競技場照明改修費ほかトップチーム運営費

【本社沼津市以外の企業向け】

② 沼津市企業版ふるさと納税としての寄付

- ・本社が沼津市外の企業のみ対象
- ・沼津市を通じたクラブ支援方法で、約3割から最大9割の税控除(各企業の財務状況による)

来年春までに
1億円以上を集める



2021 シーズン終了 セレモニー

「勝って愛されるクラブではなく
愛されて勝つクラブへ」

「沼津、東部ってなにもないよね」ではなく
週末に出かけるところがあって、人が集まれる
場所があって、地域共通の話題がある・・・

そんなまちを目指してアスルクラロは全力で
盛り上げてまいります。
応援よろしくお願いします！

Special Thanks!





Appendix

【理念】



アスルクラロはスポーツを通じて静岡県東部地域の
人々の心身の健全育成と地域の発展に貢献すること、
「全カアスル」に表されるように常に全力の姿勢で全て
の目標に取り組み「地域との共生にアスルクラロの存
在意義がある」ということを企業理念に掲げる

～クラブの理念は、明るく豊かな街づくりに寄与すること～

地域コミュニティの中核

スポーツや文化面での
青少年・住民の健全育成

地域企業との連携

1977年に沼津アーセナルとして活動をスタート。1980年に沼津香陵クラブに改称し、2006年に静岡県リーグ1部への昇格を機に現在のチーム名となった。「アスルクラロ」はスペイン語で、クラブカラーの青(Azul)と明るい(Claro)という意味。チーム名の頭文字を配したエンブレムは、クラブカラーの水色で空を表し、紺色の帯で海を表現。白色の山型は沼津の頭文字「N」と富士山をイメージしている。富士山よりも高い日本一に、世界へのスポーツクラブを目指すというメッセージが込められている。

Our History



1990年、サッカー教室から始まり
2017年県東部唯一のJリーグクラブに

現在、スポンサー様等500社以上、
スクール会員約1600名

サッカー、テニス、新体操、チア、陸
上、フェンシング等スクールを展開す
る「総合型地域スポーツクラブ」

30年以上の活動で約2万人以上の
スクール生等を輩出し、ご家族含め
大きなネットワークに成長

みなさまのご家族・お友達にもアスル生が！
関係方々のご協力があったからこそ「今」

2021 Highlight 各種スクール～身近なスポーツクラブ～



アスルクラロ沼津のシャレン！活動は
以下のシャレン！パートナーによって支えられています



Rethink PROJECT



有限会社緑香苑

株式会社ドウシステム

株式会社エンビプロ・
ホールディングス

一般社団法人バンビーノ・ラボ・
ゴルフアンドスポーツ

安全ガード株式会社

セキトランスシステム
株式会社

株式会社トクラ

VENITE SPORTS
SCIENCE



シャレン!

Jリーグ社会連携

2021 シーズン前期

活動のご報告

豊かで楽しい「まち」にしたいから



全力防災隊

【たのしく『災害・防災について学ぶ』をコンセプトにいざという時に使える知識・技能を習得しています。5月にはパートナー企業様と共に合同防災訓練を行いました。



【活動日時】
第3水曜日 19時～



環境保護対策

5月30日(ゴミ0の日)のホームゲームにて試合開始前にゴミ拾いウォーキングを実施しました。またリユースカップなど環境問題を考えたグッズ制作を積極的に行なっております。



CPサッカー

脳性麻痺で障害を持っている子供達の為に選手やスタッフでサッカー学校を行っています。体の動かし方やサッカーのルールを通して、運動をするのは楽しいという事を教えています。



【活動日時】
第2・4土曜日 10時～



ALS 啓発活動

ALS(筋萎縮性側索硬化症)で亡くなられた米山コー子を偲び、募金やセミナーを通して啓発活動を行っております。集めた募金は全額「せりか基金」に寄付しております。



全力応援BOX

ひとり親家庭や貧困家庭の為、日用品や食品等をホームゲームに持ってきていただき、必要とされるご家庭へ届けています。更には活動を通して貧困の現状の啓発を行っています。



ふれあい交流室

選手とスタッフが運動や遊びを通して地域の赤ちゃんやそのご家族と交流しています。またホームゲームへ招待する事で同じ年代の子供を持つコミュニティの形成をお手伝いしています。



2021 Highlight ホームタウン活動・チャレン活動



【CPサッカー(脳性麻痺の子)スクール「アスパラ」】



【スポーツ体験】



【「アスパラ」釣り体験教室】



【自閉症サッカースクール「アスルクラロジャンプ」】



【フードバンク「全力応援BOX」配布活動】

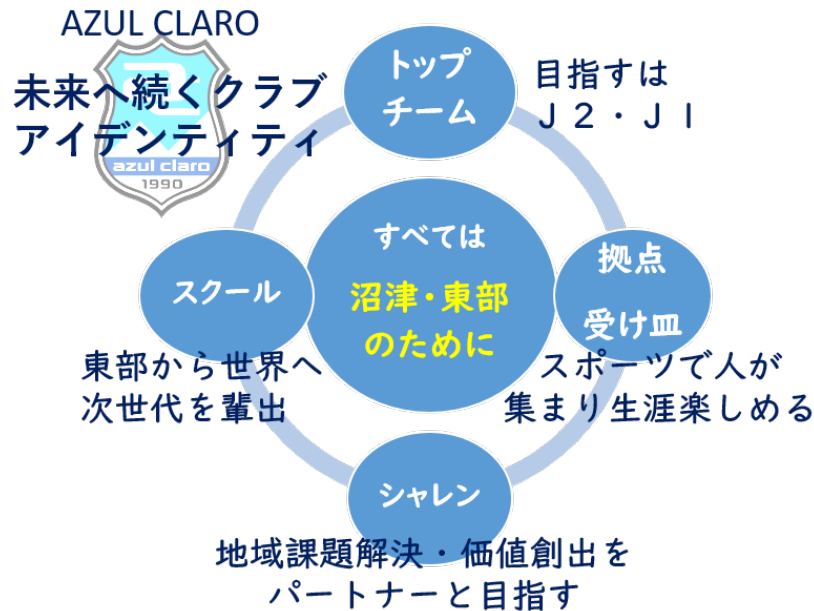


【全力防災隊】

■ Our Value to Society ~アスルの存在価値・成長ビジョン~



Our Value to Society～アスルの存在価値・成長ビジョン～



アスルのこれまで～今

- 1990年法人設立、2020年で30周年
- 「県東部から世界で活躍する子供を育てたい」
- 会員約1,600人、スポンサー等500社以上
- 「総合型地域スポーツクラブ」としてサッカー、テニス、チア、新体操、陸上、フェンシング等多数のスクール展開
- J3随一のホーム戦グルメエリア「アスルキッチン」

課題を打破

- スタジアム問題がクラブの未来を大きく左右する時期に
- 窮状を乗り越えまちの発展に欠かせない存在に

アスルのクラブ成長ビジョン

2023以降の展開のため、ホーム愛鷹の照明を改修

2023

202X年
新スタ

10～20年後

- 地域に欠かせない存在として支えられる真の市民クラブ
- まちなかスタジアムが、賑わい・交流・生活の受け皿に＝まちのいち機能に
- J2以上をキープ、東部人材を世界へ
- 年間経営規模：J2平均15億円

平日商業と休日ホーム戦
⇒日常と非日常がまちなかに

アスルのJ3での活躍・J2以上への昇格による地域・企業効果

①アスルの推定年間県内経済波及効果(沼津市H29委託調査)
J3・6.3億円、J2・11.4億円、J1・34.6億円

②ホーム戦前後のアウェイ客含めた周遊消費

③ホームゲームの活性化(コロナ前J2ホーム戦入場者は5千以上平均7千人)
→年間予定の決まっている販促会場、サンプリング・アンケート等マーケ会場
→顔の見えるコミュニケーション・プロモーションで顔なじみ企業へ

④ホームタウン活動・シャレン活動、教育活動
→単独では糸口のない、まちづくり・CSR・SDGs面でアスルを媒体にした「パートナー」参加(実務低負担・露出のしやすさ)

地域の隆盛が事業エリア
そもそもの活性化に
(企業の持続可能性)

これら4効果は
J3では限定的

地域の支援を
集めたい

地域に親しまれる企業への
ローカル・ブランディング